

# 八戸

## 理想の看護師へ 72人決意新たに

### 八学大2年生宣誓式

八戸市の八戸学院大学（水野眞佐夫学長）は11日、同大学で健康医療学部看護学科の学生による「宣誓式」を行った。基礎看護教育を終え、医療現場での本格的な実習を控える2年生72人が、白衣に身を包み、看護

の専門性と責任を再確認した。

式には保護者や教職員ら約360人が出席した。学生たちは、ナイチンゲール像から分けた火をともしたろうそくを手に「支えてくれるすべての人に感謝し、日々精進する」と声を合わせ誓った。

水野学長は「4年間、高度な医療技術を身に付けるとともに、医療全体の進歩に役立てる探求心、研究心も体得すること

を期待する」と激励。代表して昆佑香さん（20）が「専門職としての誇りと自信を持ち、それぞれが描く看護師像に近づけるよう看護の道を歩む」と決意を述べた。

看護師で、多数の著書を持つ宮子あずさんが「看護師という生き方―看護師は生きてきたように看護する―」と題し、記念講演を行った。

（山谷佳澄）



火がともされたろうそくを持ち、看護の道への決意を新たにした学生たち